



本格的な夏が始まりましたね。と、同時に台風シーズンも始まり、去った台風6号は長時間にわたり沖縄に影響が出ていました。特に離島は停電も長引き、オリンピックの観戦もできなかったそうです。

また、第5波に突入した新型コロナウイルス感染症も「百年に一度の災害」と言われるように、感染症も災害の分類に当てはまるのです。まずは自分の健康を守ること、そして、子ども達や家族の健康を守り、安心した日々を過ごせるようこれからも共に頑張っていきましょう！

### 皮膚トラブルの予防のために

汗をたくさんかく夏場に、皮膚トラブルを起こさないようにするには、細やかなケアをするように心がけましょう。

#### 室内ですぐす時には



窓を開けて風通しをよくし、涼しく過ごせるようにします。昼寝の時などもエアコンや扇風機を上手に利用しましょう。また、汗をかいた時は、こまめにシャワーで流すか、冷たいタオルでふきます。着がえや皮膚の保湿も忘れずに。

#### 屋外ですぐす時には



帽子を忘れずにかぶります。また、日焼け止めも上手に利用しましょう。外遊びの時には、日陰で休憩する時間をとります。また、夏場の午前10時～午後2時は気温も高く、紫外線量の多い時間帯ですから注意します。



### おしっこの出るメカニズム

生まれたばかりの赤ちゃんは、脳が未発達なため、尿意を感じずにぼうこうに尿がたまると反射的におしっこをします。その後、1人歩きや言葉話すなどの成長にしたがって、脳の働きが活発になり、尿意を感じられるようになります。

このように神経回路が発達することで、ぼうこうがいっぱいになるまで尿をためておくことができ、そのことで尿意を感じて、おとなに知らせたり、自分でトイレに行って排尿したりするようになります。



### 車内への置き去りは危険！

「少しの時間だから」「冷房を入れておけば大丈夫」と油断して、車に残した子どもが熱中症で亡くなるケースが後を絶ちません。夏場の車内温度は50℃以上にもなるので、絶対に子どもを車内に残さないように気をつけてください。



### 本当にあった怖い話

3歳の男の子がいました。その男の子は、口に歯ブラシをくわえたまま高さ30cmほどのソファからジャンプし、着地に失敗。くわえた歯ブラシがほほを突き破るといふ大きな事故を起こしてしまいました。すぐに緊急搬送され、歯ブラシ除去手術を行い、一命はとりとめました。他にも、歯ブラシだけでなく、ホットドックの棒やおはし、フォーク、つまようじ、焼き鳥の串など棒状の物がささり緊急搬送される事例が多く発生しています。

歯ブラシを行う際は必ず座って、大人がしっかり側につき、見ている時に行いましょう。

